

# 日本学術振興会特別研究員 DC におけるスポーツ科学研究の現状： 採用者数および採用者の論文業績数に関する隣接分野との比較

塩谷彦人

早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード： 科研費，学振 DC，特別研究員奨励費，採択，研究実績

## 【抄 録】

日本学術振興会特別研究員－DC(学振 DC)は、我が国における代表的な若手研究者支援制度の一つである。学振 DC にまつわる言説として、スポーツ科学関連の小区分は医歯薬学分野に位置付けられ他の医学系研究と比較される点で不利、論文業績がなければ学振 DC 採用は厳しい、といったものが散見されるが、定量的なエビデンスは示されていない。本研究では、スポーツ科学関連とその隣接分野(リハビリテーション科学関連、栄養学および健康科学関連、体育および身体教育学関連)における学振 DC 採用者数および採用者の論文業績数について比較検証し、スポーツ科学関連が採用者数の観点で不利な立場にあるか、採用には論文業績が必要かを明らかにすることを目的とした。日本学術振興会の公開データから、医歯薬学分野の各小区分における 2019 年度－2023 年度の採用者数を抽出した。また、業績データベースからスポーツ科学関連とその隣接分野の採用者が申請時点(採用年度の前年 5 月)で有していた論文業績数を抽出した。スポーツ科学関連の総採用者数は医歯薬学 74 小区分中第 3 位の 62 名であり、第 2 位の栄養学および健康科学関連とも有意差は見られなかった。申請時点における論文業績数では、スポーツ科学関連とその隣接分野の採用者 200 名のうち 69 名(30.1%－50.0%)が論文業績を一切有しておらず、117 名(48.4%－68.5%)は筆頭論文業績を有していなかった。また筆頭論文業績を複数有していた採用者は 26 名(0%－19.4%)と限られていた。これらの結果から、学振 DC にまつわる流説が実態と異なり、スポーツ科学は他の医歯薬学小区分より採用者数が比較的多いことや、論文業績数の多寡によらず学振 DC に採用されることが明らかとなった。

スポーツ科学研究, 20, 170-179, 2023 年, 受付日:2023 年 6 月 28 日, 受理日:2023 年 12 月 11 日

連絡先: 塩谷彦人 359-1192 所沢市三ヶ島 2-579-15 早稲田大学スポーツ科学学術院

[h-shiotani@aoni.waseda.jp](mailto:h-shiotani@aoni.waseda.jp)